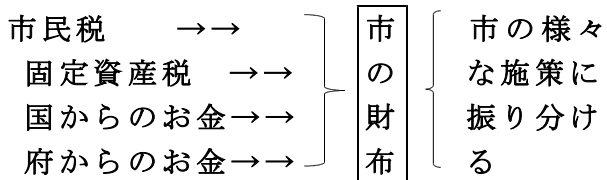


こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2021年3月28日

総計予算主義の原則に 反する市の言い分



3月5日の議会で、井上議員が「市民分断はやめよ」と追及しました。

「敬老乗車証や保育料、国保料など、70歳未満の市民や保護者・被保険者以外の市民からの税金が、いくら投入されている等と市長は強調しているが、これは市民の間に分断と対立を図ろうとするもの。こういう言い方はやめよ」「例えば動物園運営費は入園料だけで賄われている訳ではない」「市長の給料は市長が払っている税金だけで賄われているわけでもない」

「ある制度が、直接の利用者の負担以外の一般財源で賄われているのは当たり前のこと。総計予算主義（目的税でない限り、特定の収入源を特定の用途に充てないこと）の大原則から言えば、問題にすること自体が不適切だ」

市は「割り算して事実を紹介しただけ」等の弁解に終始しました。



- ◎ 観光業なので大変。
- ◎ 孫の学費が大変。
- ◎ 認知症対策を。母親が認知症、胃ろうで要介護5、コロナがこわ
- ◎ 観光業に頼りすぎだ。
- ◎ NHK受信料を無料に。
- ◎ 住宅リフォームへの助成を。取引先が少なくなっている。
- ◎ 株が暴落して大損害。
- ◎ コロナの影響で職を無くした人に対する支援を。
- ◎ コロナの影響で売り上げ減少、生活できない。介護保険料・利用料の軽減を願う。敬老乗車証は今のままで。
- ◎ 住宅リフォームへの助成を。取引先が少なくなっている。
- ◎ 観光業に頼りすぎだ。
- ◎ NHK受信料を無料に。
- ◎ 観光業なので大変。
- ◎ 孫の学費が大変。
- ◎ 認知症対策を。母親が認知症、胃ろうで要介護5、コロナがこわ

- ◎ 生活保護受給世帯児童の修学旅行援助金の廃止
- ◎ 30歳代の乳がん対策廃止
- ◎ 被災者住宅支援制度の廃止
- ◎ 重度障害等利用事業所支援補助削減
- ◎ 在宅障害児対策削減
- ◎ 私立高校教育奨励助成廃止
- ◎ ライトハウス運営補助削減、等々
- ◎ 光熱費もものすごくかかりキツイです。
- ◎ 飲食店や医療だけでなく国民の為の一律給付金の提案をもっとしてほしい。特に野党は。
- ◎ 敬老乗車証を楽しみにしていましたが、遠くののがひどい。
- ◎ 子どもが仕事がなく困っています。家計が苦しく、再度国民一律10万円お願いします。
- ◎ 貧しくてスマホも持っていないのに「詳しくはスマホにて」等と言われると、取りつくとしまないと感じます。
- ◎ 国民年金だけで生活している身にもなってほしいです。
- ◎ 医療機関で働いています。とても心配です。

● 勿論ウソではないが、一面的だと思えます。財政危機の要因である国の責任や、その国にもっと要望すべきなのにむしろ追従し、自らも大型事業のムダ遣いを進める市の姿勢については、全然書いていません。

● つまり、「財政危機」を強調しながら、その

原因や背景に対する分析が全く不十分です。● というより、3月号では「福祉などを手厚くしてきた」と強調し、それが「危機」の原因であるかのように書いています。これは分析が不十分というより、全く間違っています。

● だから市は、その福祉を削ることが危機打開の方向だなどと言っている切り捨てようとして、市の文書ではそういうことも書いていますが、

◎ 夫がコロナの影響で職を失い、収入は私のパート代だけ。総合支援再貸付を申し込みました。社会福祉協議会に聞いたら2カ月かかると言われました。こんなに待てません。コロナの影響で職を無くした人に対する支援を。

切実な声が寄せられています アンケート返送分の紹介Ⅱつづき

● 実際に、来年度予算案の中には、右下記事に紹介しているような項目

“夫はウンはついでいないが全部を言っていない”
 “市民しんぶんはウンではないが全部を書いていない!?”

● 目が含まれています。逆に言えば、この切り捨てる方向に読者を誘導するように書かれていると考えると、「財政危機」を強調する市の意図も分かり易くなってくると思います。● 財政問題については、今後も紹介の予定です。